

され決定されんか公益利益事業に従事する我が五百五拾萬の労働者大衆の争議は強制調停に依り彈壓、壓殺されるのた去る九年慶東京市電氣局五千の全従業員が東交の指導下に軍隊の如き規律と鐵の如き團結力を以て闘つたにも拘らず壓殺されたではないか、非常時三十五年に入りて益々反動化するフイツヨ資本は一切の犠牲を労働人衆に轉加せんとせしめらゆる壓迫彈壓諸法令の改悪に依り労働者階級の反抗闘争を壓殺弾壓せんとしてゐる。若々ぬかかる彈壓暴徒に斷乎として反對運動を捲き起すべく全無能大衆に呼びかけ怒濤の如き大衆の壓力を持つて労働争議調停法改廢労働争議調停法改正案改廢を期せんとするものである。

一、労働争議調停法改廢

一、労働争議調停法改正案改廢

失業保險制諸願要旨

働勞の意志と能力を有し乍ら職を求め得ないで空しく踏頭を蹴ふと言ふ此の矛盾極まる社會現象が今や風沆にして深刻に我社會の各層に現はれて來たのである。誠に失業問題こそは社會不安の低氣壓であり社會問題中の最大問題である年々急テムボを以て増加し來つた又増加しつゝある資本主義制度の産兒である失業者はその數我國に於て實に百萬と稱せられる若し現在に於てこの問題をいよいよ加激に糊塗して行くならば將來は、、、、

失業問題解決策としては種々な策が考へられるであらうが大別して(一)根本的解決策と(二)部分的解決策とが考へられるであらう根本的解決策とは文字通り失業と根本的に解決する策であり部分的解決策とは即ち資本主義制度下に於て其の失業現象を可能の限り減少化せんとする方策である吾人として(一)の根本的解決策より(二)の部分的解決の方が特に當面として好まざるの必要性を知り其の